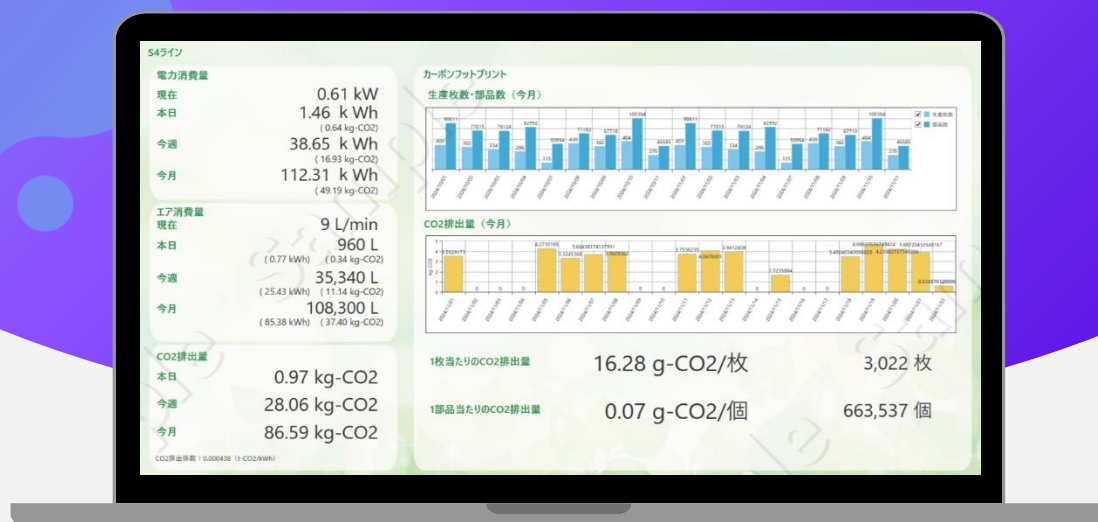


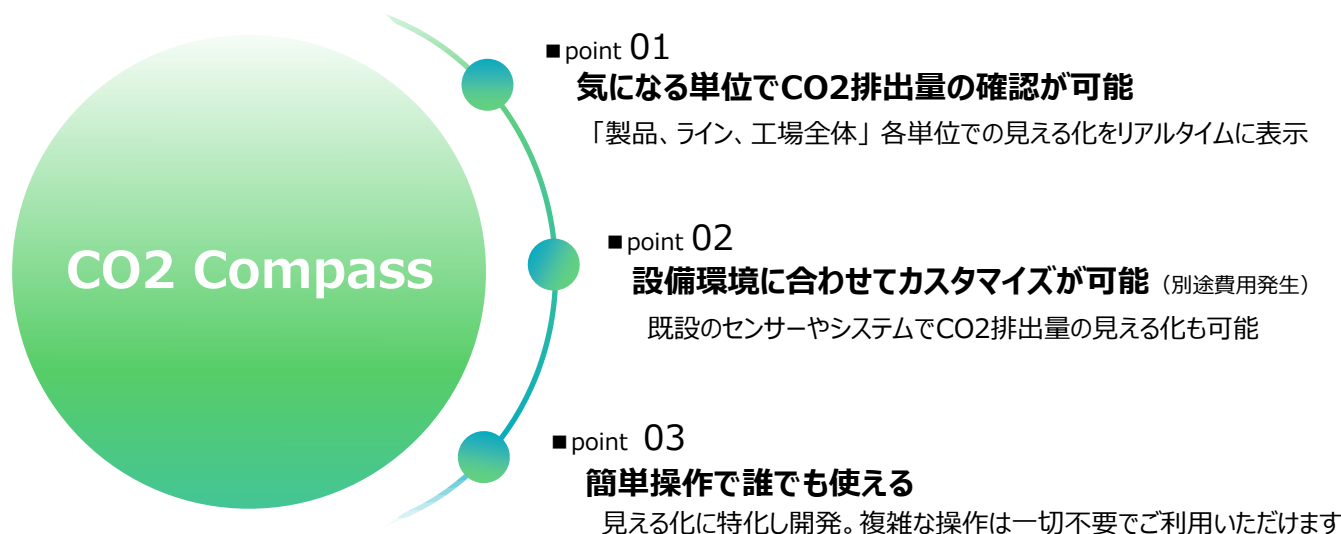
細かく見えれば、未来は明るい



「工場全体から製品単位までCO2排出量を見たい」
未来が求めるニーズをカタチにしました

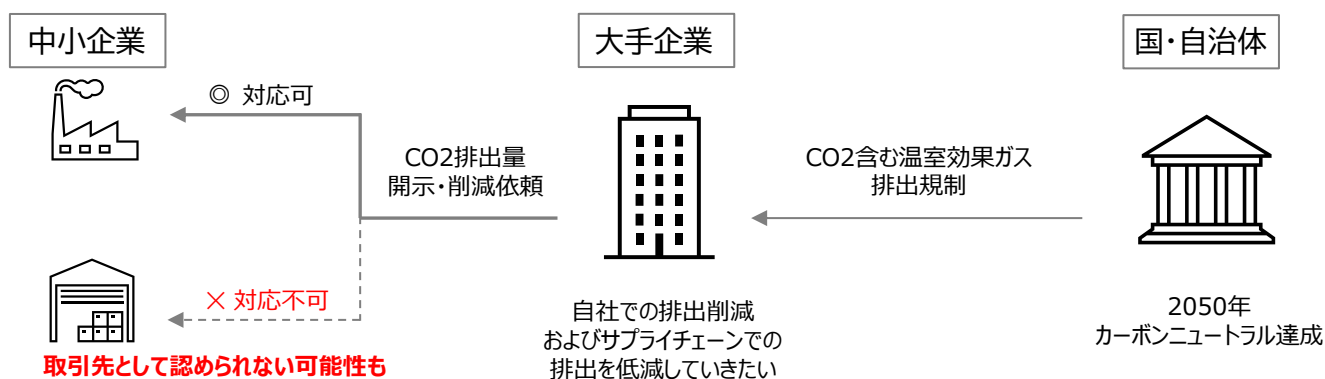
CO2 Compassが出来ること

製品（パーツ含む）から工場単位までCO2排出量が見える化。Scope3を見据えたツールとしての活用も可能です。生産設備毎の流量を計測し電力換算→CO2排出量を算出するため、製品（パーツ含む）単位においても精度の高い算出が可能。



CO2排出量の見える化が必要なワケ

多くの大手企業がカーボンニュートラルを掲げ、自社だけでなくサプライチェーン全体の脱炭素化への取り組みが急速に進んでいます。「サプライチェーン」には素材メーカーや物流事業者など幅広い業種が含まれ、あらゆる取引先からCO2排出量の報告や削減が求められる未来がすぐそこまできています。



CO2 Compass 導入メリット

見える化により浮き彫りになった問題に対し、幅広い視点での「省エネ対策」を提案、実行までサポートします。

